



チ・カ・ホに1日自然史博物館が出現！ CISE サイエンス・フェスティバルの開催について(お知らせ)

開催概要： 札幌近郊の自然系博物館と図書館などが大集合。
恐竜の化石や動物のはく製や標本、絵本を展示します。

展示内容

- ・各施設・参加機関の活動紹介展示パネル
- ・各施設の活動内容を表す展示およびハンズオン教材
生物標本、動物の頭骨、はく製、恐竜のレプリカ、
恐竜やクマなどの仕掛け絵本の展示
- ・ワーキンググループの紹介展示
- ・トランクキットの内容（試作段階）の展示および実演
恐竜トランクキット（恐竜のレプリカ、パズル）
ヒグマトランク（ヒグマの毛皮、頭骨、足跡シート他）
サケトランク（紙芝居、サケすごろく）



開催趣旨：

CISE サイエンス・フェスティバルでは、CISE ネットの事業を多くの地域住民に知ってもらうことを目的に、参加機関の活動紹介や開発を進めているトランクキットの展示や実演を行います。

CISE ネットとは、北海道大学が運営機関として、独立行政法人科学技術振興機構の「平成24年度科学技術コミュニケーション推進事業 ネットワーク形成地域型」科学系博物館・図書館の連携による実物科学教育の推進 ～CISE (Community for intermediation of Science Education) ネットの構築～ として採択された事業のことです。CISE ネットでは、札幌圏（札幌市・小樽市・石狩市・北広島市）において、従来、連携の弱かった博物館、科学館、図書館、動物園などのネットワークを構築し、多面的な実物標本教育体験ができる教材開発をすすめ、社会教育や学校教育における実物科学教育を推進していきます。研究者や学芸員が直接、市民に接する場を設け、科学の面白さを伝え、実物の標本に直接接触することで科学の楽しさを知ってもらう企画を考えています。

日程： 2013年1月26日（土） 開始時刻 10時 / 終了時刻 15時

場所： 札幌駅前通り（チ・カ・ホ）地下広場「北大通交差点広場（東）」

主催： 北海道大学（CISE ネット運営機関）

参加対象： 一般市民

参加費： 無料

申し込み期間・方法： 申込み不要

お問い合わせ先

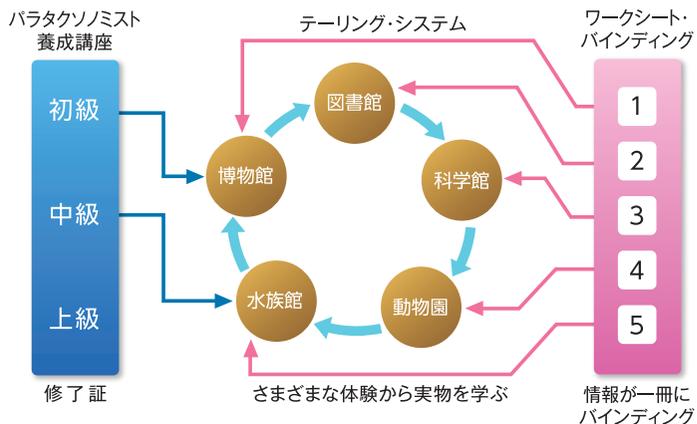
所属・職・氏名：北海道大学総合博物館・CISE ネット担当・学術研究員 菊田 融

TEL: 011-706-4704 FAX: 011-706-4704 E-mail: cise@museum.hokudai.ac.jp

教材プログラムの開発

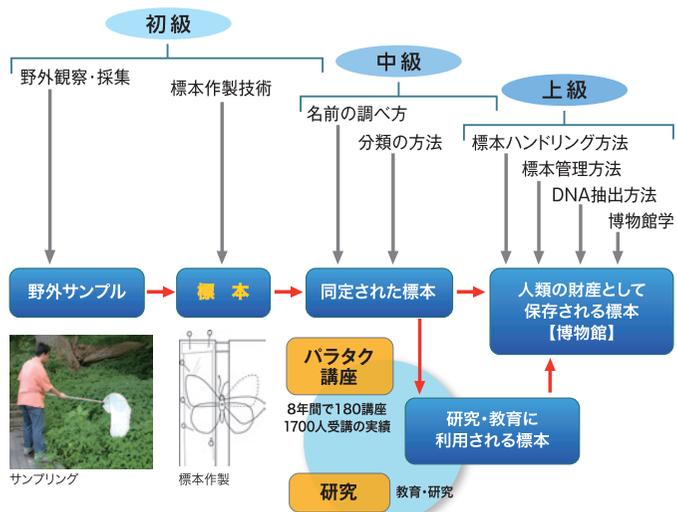
ひとつのテーマを複数の教育機関で視点を変えながら学ぶ機会をつくります。パラタクソミスト養成講座、テーリング・システム教育のワークシート・バインディング、トランクキットを、効果的に使いながら、札幌圏での地域教育、実物教育をテーリングを通して実施します。

ひとつのテーマを複数の教育施設で連続して学ぶ



パラタクソミスト(準分類学者)養成講座

標本の作り方、ハンドリングの仕方、管理方法、研究方法を学ぶ講座です。生物学、地質学、考古学、古生物学などの分野の標本を扱う人材を養成します。



パラタクソミスト養成講座は、通常2日間、12名程度の参加者の講座で、標本の採集、作製、分類、取扱と保存について、講義、実習をします。



北海道大学を中心に、現在まで、昆虫(一般、甲虫、ハエ、カメムシ)、ダニ、水鳥・小ほ乳類、植物(コケ植物、シダ植物、イネ植物、カヤツリグサ科、水草植物)、キノコ、岩石、鉱物、鉱床、考古学(石器、鉄器、土器)など約30の分野を施設状況に合わせて実施してきました。

テーリング・システム教育

ワークシート・バインディング

ひとつの科学テーマについて、複数の連携教育機関を巡りながら学ぶシステムです。博物館、図書館、動物園、水族館、科学館などで、さまざまな体験を通して実物教育が学べる仕組みです。

野外観察、飼育動物の観察、座学、実験、図書読み聞かせ、展示制作などを多様に試みます。



トランクキット

博物館へ行けば展示物や標本で学ぶことができます。さらに、博物館から展示物や標本を持ち出せるキットがあれば、実物教育の機会は格段に広がります。複数の連携教育機関が知恵を出し合い、地域に合ったトランクキットを開発します。野外観察会や学校内で、実物の標本を効果的に活用し教育できるデリバリーシステムを目指します。



生き物をより感じ、知ってもらうための資料・標本・写真・解説パネルなどが入っています。誰でもプログラムを説明できるように工夫します。



授業風景